

若いなかま

若いなかま No.207

2020 (令和2)年 3月15日 発行

発行 (公社) 福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号
吉塚合同庁舎6F

TEL (092) 643-6001 FAX (092) 643-6003

E-mail : net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www.fayd.jp/>



写真提供：オールスポーツコミュニティ

目次

表紙 福岡県民さわやかマラソン	1
福岡県民さわやかマラソン	2
乳幼児教育研修会	3
特集：子どもの貧困問題への取り組み	4～5
ーふくおか筑紫フードバンクの活動ー	

地域の話 (八女市)	6
「家庭の日」「オアシス運動」作品表彰式、 諸連絡	
(公社)福岡県青少年育成県民会議賛助会員のご紹介	7
「青少年育成 考」、その他	8

(公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を集結し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。

(昭和45年 社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)

2019 第19回

福岡県民さわやかマラソン大会

とき 令和元年 11月24日(日) ところ 海の中道海浜公園

マラソンを通じて、心身ともにたくましい青少年の育成や勤労者の健康増進を図り家族のふれあいを深めるなどを目的として毎年開催される本大会は、今年で19回をむかえました。大会当日は、雨の降るあいにくの空模様でしたが、幼稚園、保育園児から高齢の方たちまで、参加者は、家族や仲間たちの声援に励んで、元気いっぱいコースを駆け抜けました。

小雨の中で

今年の参加者は、1歳から83歳までの男女2,023人。福岡県だけでなく北海道から熊本県まで全国各地からの参加がありました。小雨の降る中、午前9時からの受付には、傘を差したり、レインコートを着たりした、大勢の参加者が列をなしていました。

開会式

開会式では、毎年学校全体で参加されている福岡市立東住吉小学校6年生の林天晴さんと小嶋琉華さんの元気な選手宣誓がありました。

また、今大会では、ジャパンラグビートップリーグのコカ・コーラレッドスパークス元選手



の築城昌拓さんと藤原博之さんがゲストランナーとして参加され、軽妙なトークを交えて全員で楽しく準備運動を行いました。

家族ペア

10時40分、最初の種目である小学生未満の0.5km家族ペアのスタートです。3年目となるこの種目は、過去最高の166組もの申込みがありました。ペアのかたちも、父親や母親とのペアだけでなくお爺ちゃんやお婆ちゃんとのペアなど様々です。お父さんと一緒に元気に走りきる子もいれば、途中でおんぶされる子もいたりと思いいに楽しんでいたようでした。家族の大きな声での応援も大変印象に残りました。

1kmや2km家族ペアでは、子ども達の方が家族をひっぱっていきます。一緒に走る家族も必死のようです。



目標達成にむけて

1km、2km、10km、5km種目と、次々にスタートしていきます。練習の成果を発揮するときです。子ども達の中には、将来のアスリートを目指すような力強い走りを見せてくれる子ども達もいて、頑張りすぎてゴールで力尽きて



うずくまる子どもも見受けられました。参加者全員が、それぞれの思いを胸にして、力走していました。入賞や完走、また、タイムの更新等の目標を達成されたみなさんおめでとうございます。

小学生以下及び、家族ペアの種目別入賞者

- ▼0.5km家族ペア ①藤永大介・環菜 ②新留浩之・愛俐 ③久永愛・芽衣紗
- ▼1km家族ペア (小学3年以下) ①中村徹・雪洲 ②百田耕助・健水 ③早川博史・暖史
- ▼2km家族ペア (小学1年〜小学3年) ①有馬宏紀・瑚介 ②加藤隆之・清史郎 ③宗正健司・樹 (小学4年〜小学6年) ①古賀久臣・心 ②白橋齊・拓巳 ③大場伸亮・尊道
- ▼1km小学1年 (男子) ①山本愛斗 ②塚本貫太 ③妹川勇雅 (女子) ①谷口莉乃 ②浜口梨菜 ③大坪璃子
- ▼1km小学2年 (男子) ①森永颯心 ②大武葉月 ③荒井聡真 (女子) ①立石茉愛 ②崎山鈴夏 ③立川美音
- ▼1km小学3年 (男子) ①新留大馳 ②山川憲祐 ③木村魁 (女子) ①高場世菜 ②西岡真愛 ③末松凜安心
- ▼2km小学4年 (男子) ①佐藤壮真 ②平田未來 ③安永陽悠 (女子) ①末松美咲 ②山本真里奈 ③上川紗來
- ▼2km小学5年 (男子) ①近藤優羽 ②松浦慧大 ③原渚月 (女子) ①一木亜美 ②中村梨央奈 ③山口心翠
- ▼2km小学6年 (男子) ①土居正宗 ②小川翔太郎 ③山元幹太 (女子) ①原田綾夏 ②末松妃和心 ③中西娃里

大きな銀行より、
大好きな銀行に
なりたい。



この街でこいっしょに
福岡中央銀行

令和元年度 「乳幼児教育研修会」 開催

とき…令和2年2月5日(水) ところ…都久志会館



い場所を創出する。地域子育て支援事業を行う団体等への育成及び支援を行うことで、地域

で子育てを行う環境づくりを実現する。

●活動内容…「遊び・交流・学習・相談の機能を有し、地域の子育て支援の拠点としての役割を担う」をコンセプトに、親子サロン事業と子育て応援事業の2つの事業がある。子育て応援事業については映像と共に説明した。「あかちゃん広場」は、3カ月〜12カ月の赤ちゃんにとっての親が対象で親子あそびや育児相談など行う。「のびのび広場」は、1歳児と保護者が対象。「親子あそびりーダー養成講座」は、子育て支援に取り組み市民が対象。など7つの事業を説明した。

大野城市親子教室



「れいわ子ども情報センターの取り組み」

発表…こども未来課

安地 沙織氏



大野城市こども部には、こども未来課、こども健康課、子育て支援課がある。各課は2つの担当部署を持ち、各々の得意分野を活かした

基調講演



「発達障害をもつ子供たちへの支援」〜自閉症スペクトラム症を中心として〜

福岡市立東部療育センター

公認心理師 臨床発達心理士

野間 康美氏

68人に1人という自閉症スペクトラム症(ASD)の話を、①ASDとは②早期発見・早期介入の意味③ASDの特性をもつ子供たちを育てる④まとめという流れで話された。



ASDは脳の構造や機能の違いにより、感情を伝える・読み取る・共感することの難しさ、非言語理解の難しさなどの特性を説明し、まとめとして●その子の特性を知る・違う事を認める●何を知らず何をしていいのか●その子の「わかる」を作る●小さなときの積み重ね・人生の土台を作る幼児期●人に気づく・人を好きでいることが必要であることを述べられた。

会場からは参加者が現場で直面した問題の質問が多くあった。

★参加者の多くは教育関係者だが、乳幼児のいる保護者の方々にも聞いて欲しい内容でした。

第207号 号 関わっていけばよいのかを悩んでいる方に、市町村の親子教室事業の活動報告や専門の先生によ



「乳幼児期は周りの環境や保護者など身近な人、周囲のものが自然から刺激を受けて豊かなところや感覚が発達していく時期であり、人間形成の基礎が培われる極めて大切な時期であります。この大切な時期にどのように

《主催者挨拶》
(公社)福岡県青少年育成
県民会議 家庭部会
部会長 杉原 敏子

令和元年度の乳幼児教育研修会は、親子教室事業3年目を迎える大野城市こども部こども未来課による事業事例発表と福岡市立東部療育センター公認心理師・臨床発達心理士の野間康美氏による「発達障害をもつ子供たちへの支援」の基調講演があった。約140名の参加者からは活発に質疑等が行われ、有意義な研修会となった。

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。

福岡銀行

特集

《子どもの貧困問題》

子ども食堂支援に特化した

ふくおか筑紫フードバンク

食品ロスが大きな社会問題となっている。食品ロス削減にフードバンクの取り組みが効果的であり、フードバンクの活動普及が大切であると言われていいる。福岡県にもNPO法人フードバンク北九州アゲイン・NPO法人フードバンク福岡・ふくおか筑紫フードバンク・フードバンクくるめ、の4ヶ所で食品ロス削減を目標にそれぞれの特徴ある活動を展開している。今回はその中の一つ、子ども食堂支援に特化したふくおか筑紫フードバンクを訪ね、その活動を取材した。筑紫フードバンクの事務局である特定非営利活動法人(NPO)チャイルドケアセンターの理事でありフードバンク事務局長である吉田まりえさん(写真)にお話を伺った。

★特定非営利活動法人

チャイルド

ケアセンター



平成13年大野城市で「子育てをしたいと思える街づくり」を目指してNPO法人を設立。「子育てを真ん中に地域で育て、育ちあう」を合言葉(理念)に活動を開始。大野城市・春日市・那珂川市・太宰府市・筑紫野市をエリアとして活動対象を乳幼児から中学生までの子育て支援を行っている(情報と人の

ネットワーク化)そのほか子育て支援に関する事業・多世代の交流・居場所づくりに関する事業・能力開発起業、就労支援等多方面に事業を展開し、今年19年目を迎えた。また、ファミリー交流センター・大野城・那珂川の3ヶ所を拠点に運営しており、フードバンク事業は、今やチャイルドケアセンターの一大事業となり、地域の賑わいづくりに貢献している。



ふくおか筑紫フードバンクの成り立ち

子ども達の状況が大きく変わってきている。多様な人とのつながりと体験の貧困、経済的な貧困だけでなく共働きの増加・経済的な困窮家庭の増加・孤食の増加・家庭学習の習慣がないなどの現状を把握。温かい食事をみんなと一緒に食べ、すべての子ども達の居場所を地域にたくさんつくる必要があると判断。

NPOの自主事業で2016年夏、当時の那珂川町(那珂川市)に子ども食堂を試行開設。新聞社や多くのメディアを通じて反響が大きく予想以上の食材の寄付が集まる。NPO法人ケアセンターとしてどうかかわるか?集まった食材の利用など検討する。そこで、食品ロス削減も含め、子どもたちの状況を改善するために子ども食堂に特化したフードバンクを設立することを決断、組織づくりが始まる。

◎ふくおか筑紫フードバンクの概要

★ 目的・温かい食事を皆と一緒に食べるすべての子ども達の居場所づくりを地域にたくさん作ることを応援。筑紫野地域の「子ども食堂」支援に特化。

★ 運営方針

- * 支援地域・筑紫地区に限定
- * 食材・ご飯とみそ汁を基本とする
- * 協力企業・食品業者に協力依頼
- 子どもを中心に「利用会員」と「協力会員」の顔が見える地域循環の仕組みを目指す

★ 支援団体と支援内容

- * 大野城市・冷蔵庫・冷凍庫の購入補助
- * 西松建設・食物の保管場所の提供
- 大野城市瑞穂町の社員寮の空き管理入室を利用し、冷蔵庫・冷凍庫を設置。エアコンの寄贈設置。
- 子ども食堂の場所提供(平和寮の食堂など)
- * エフコープ生協・大量のお米や大容量の食品などの保管・管理

* 肉屋・近隣農家の野菜・調味料・寄付金等多岐にわたる

★ 協力会員(企業・パートナー) と利用会員(子ども食堂)とのルール

- ① 転売をしない
- ② 食品の適切な取り扱い
- ③ 使用報告書の提出

★ 利用会員(子ども食堂)

現在34ヶ所に食品を配給。自治会や公民館、ボランティア団体が主催する子ども食堂で月1回定期的に開催しているのは10ヶ所未満。その他は年に1回〜3回程度の利用が多い。



★筑紫フードバンクの仕組

◇利用会員＝子ども食堂

- *子ども食堂の運営者・食品の寄付先
- *食品等の取扱いに同意した「利用会員」に配布
- *事前に利用会員の申込みと食品の取り扱いの同意書を取り交わす

食材等配布

食材等配布

◇ふくおか筑紫フードバンク

ふくおか筑紫フードバンク運営委員会
【事務局（特活）チャイルドケアセンター】

企業（食材・寄付金・保管場所）

個人（食材・寄付金・場）

行政（補助金・規約等）

◇協力会員＝企業パートナー

- *定期的に寄付・食品の保管に協力頂いている企業パートナー
- *子ども食堂に必要な食品の提供をフードバンクから依頼
- *事前に協力会員の申し込書と食品取り扱いに関する同意書を交わす

来年度配布のチラシ

笑顔がいっぱい
お腹もいっぱい

おのじょうこども食堂
みずほ町

西松建設 平和寮
福岡県大野城市環線町1丁目2-20

4月8日/5月13日
6月10日/7月8日
(毎月第2土曜日)
8月はお休みです

受付: 10:30~13:30
食事の時間: 11:30~14:00

★参加費★
無料

主催: NPO法人チャイルドケアセンター・西松建設
協力: ふくおか筑紫こども食堂&ふくおか筑紫フードバンク
子ども本専門店(1F)
後援: 大野城市・大野城市教育委員会
事務局: NPO法人チャイルドケアセンター
大野城市新大町2丁目20 TEL: 092-502-8822
お母の緊急連絡先 090-9472-4378

子どもにも利用できるお母さん専用所!
「ふくおか筑紫こども食堂ネットワーク」は「ふくおか筑紫フードバンク」と連携し
子ども食堂を運営する団体で、地域密着としてのこども食堂を応援しています。



チャイルドケアセンターが独自で運営している地域限定の子ども食堂である。受付名簿に記入するだけでどなたでも利用できる。予約はいらぬ。年に2回、西松建設の寮がある校区の小学校にチラシ（左図参照）を配布している。多い時で100人以上が参加。現在は平均70〜80人の子どものや大人、高齢者も利用している。子どもは無料。大人は200円。当日は西松建設・平和寮の食堂を開放してもらい、「子ども食堂」用の設えに変えたり、利用者が来易いように玄関周りの片付け等、社員さんに手伝ってもらっている。社員の方たちも食堂を利用している。食事を作るのは

おのじょうこども食堂
みずほ町

楽しい食事の様子と
工夫された献立の一例



HPより引用

ある。
芝居を楽しんだり、CSR(社会奉仕活動)の一環としての体験学習などを開催することもある。
したいという近所の方がほとんど。子ども食堂の献立は当日ある食材で決める。豚汁やカレーなどが人気メニュー。一度にたくさん配膳ができないので、その間、リビングで紙芝居を楽しんだり、CSR(社会奉仕活動)の一環としての体験学習などを開催することもある。
子育てを終わった主婦や保護者など地域のボランティアが協力。口コミやお友達関係で支援が広がっている。ボランティア参加には特別の条件はなく子育て世代を支援したいという近所の方がほとんど。子ども食堂の献立は当日ある食材で決める。豚汁やカレーなどが人気メニュー。一度にたくさん配膳ができないので、その間、リビングで紙芝居を楽しんだり、CSR(社会奉仕活動)の一環としての体験学習などを開催することもある。

TENJIN 16 SKYHALL

天神スカイホール

福岡・天神の多目的ホールとして「心からのおもてなし」を提供いたします。
講演会、シンポジウム、研修会、各種パーティー、同窓会、記念行事など
幅広くご利用いただけます。お気軽にご相談下さい。



令和
元年度

「家庭の日」「オアシス運動」
最優秀・優秀作品の表彰式

日時：令和2年1月13日（月・祝）

場所：アクロス福岡コミュニケーションエリア

最優秀賞には、ポスター部門で九州産業大学附属九州高等学校1年生の松尾 碧さん、作文部門では、福岡県立嘉穂高等学校附属中学校2年生の佐田 蒼衣さんが選ばれました。

また、令和2年1月13日にアクロス福岡コミュニケーションエリアにおいて、最優秀作品と優秀作品の表彰式を行い、同エリアで1月19日まで作品の展示を行いました。（ポスター・作文の最優秀作品は、県民会議のホームページに掲載しています。）



ポスター部門
ポスター部門で受賞された皆さん
中央右が最優秀賞の松尾 碧さん

作文部門
作文部門で受賞された皆さん
中央右が最優秀賞の佐田 蒼衣さん



賛助会員へのお知らせとお願い

このほど広報部では、あらゆる場所で取り組まれている青少年健全育成や社会貢献を広く紹介すると共に、さらに、県民の方々が身近に感じる広報紙の内容にすることとしました。つきましては、全ての賛助会員の方から広報紙「若いなかま」に掲載する記事を募集します。

- ① 掲載する記事は、「青少年健全育成」「社会貢献」等を内容とする取組
- ② 記事の字数は、300字程度、なお、活動の様子が分かる写真1枚必要
- ③ 記事の掲載は、7月、11月、3月の発行月に近い号に掲載
- ④ 記事を送る場合は、メール、FAX、郵送でも可能（ただし、写真は、メールか郵送）
- ⑤ 送り先

〒812-0046
福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎内6F
（公社）福岡県青少年育成県民会議 育成課：田中宛まで
TEL：092-643-6001 FAX：092-643-6003
メール：tanaka.m.1803@diary.ocn.jp

八女市の
地域の話題
地区の活動を紹介します

第19回21世紀
青少年チャレンジウォーク



八女市青少年育成市民の会

「第19回21世紀・青少年チャレンジウォーク」が2019年3月26日（火）～27日（水）に開催され、市内の小学4年生から中学3年生までの子どもたち50名が参加しました。

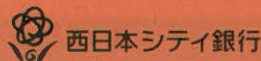
初日は「げんき館おおぶち」を出発し、東部スポーツ公園「グリーンフィールド八女」、渡内公園などを経由し福岡県立ふれあいの家南筑後までの26kmを歩きました。2日目は筑後広域公園などを経由して「おりなす八女」までの22km、全行程約50kmのコースを参加者はみんなで励まし合いながら最後まで歩き通し、素晴らしい達成感を味わいました。

子どもたちは、沿道に咲く菜の花など見て歩き、自然あふれるふるさと八女の自然を満喫しました。また、コース上にはさまざまな「チャレンジ課題」が設定されており、みんなで力を合わせて課題を解決しながら、学校や学年の垣根をこえて交流を深めることができました。参加者からは「初めて会う人ばかりだったけれど、宿泊を含めた2日間で仲良くなれました。友達が増えて楽しかったので、また来年も参加したい」との感想が寄せられました。



ココロがある。コタエがある。

誠実なココロで人と向き合い、ベストなコタエをご提案する。
それが、創立以来ずっと変わらない西日本シティ銀行の仕事です。
お客さまの人生のパートナーとして、企業の皆さまの事業のサポーターとして。
「総合力No.1の地域金融グループ」を目指して、私たちは挑戦し続けます。



令和元年度 (公社)福岡県青少年育成県民会議へ賛助いただいた会員の御紹介

令和2年3月1日現在 (敬称略: 50音別)

次の世代を担う青少年の健全育成活動にご支援いただき、誠にありがとうございます。心から御礼を申し上げます。

特別賛助会員の皆様

(株) ア サ ヒ 緑 健 エントリースービスプロモーション(株)	(株) 筑 邦 銀 行 (株) 西 日 本 シ テ イ 銀 行	福 岡 県 信 用 保 証 協 会 (公 社) 福 岡 県 宅 地 建 物 取 引 業 協 会
九 州 電 力 (株)	(株) 西 日 本 新 聞 エ ス ピ ー セ ン タ ー	福 岡 県 町 村 会
九 州 旅 客 鉄 道 (株)	西 日 本 鉄 道 (株)	福 岡 県 公 認 ボ ウ リ ン グ 場 協 会
(株) 九 電 工	日 本 食 品 (株)	(株) 福 岡 中 央 銀 行
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	日 本 た ば こ 産 業 (株)	ポ ン ウ ェ イ (株)
西 部 ガ ス (株)	(株) 福 岡 銀 行 会	
J A バ ン ク 福 岡	福 岡 県 市 長 会	

団体賛助会員の皆様

(株) あ ら い (NPO) 飯塚市青少年健全育成会連絡協議会	公 立 学 校 共 済 組 合 福 岡 宿 泊 所	福 岡 県 私 学 協 会
石 橋 印 刷 (株)	(株) 三 会 拾 六 町 病 院	(社) 福 岡 県 私 立 幼 稚 園 振 興 協 会
(株) 石 村 萬 盛 堂	(NPO) 次 世 代 の チ カ ラ FUKUOKA	福 岡 県 商 工 会 連 合 会
糸 田 町 自 由 ケ 丘 老 人 ク ラ ブ 鶯 会	(医) 成 晴 会 堤 病 院	福 岡 県 地 域 婦 人 会 連 絡 協 議 会
岩 崎 建 設 (株)	(株) 瀬 利 宗 助 商 店	福 岡 県 農 業 協 同 組 合 中 央 会
岩 本 明 子 英 会 話 教 室	大 同 建 設 (株)	福 岡 県 遊 技 業 協 同 組 合
上 村 建 設 (株)	高 木 印 刷 社	(一 社) 福 岡 県 労 働 者 福 祉 協 議 会
(株) お お す み 制 服	(株) 千 鳥 饅 頭 総 本 舗	(社 福) 福 岡 コ ロ ニ ー
大 野 城 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ	東 京 海 上 日 動 火 災 保 険 (株)	富 士 火 災 海 上 保 険 (株)
粕 屋 殖 産 (株)	(株) 西 日 本 新 聞 印 刷	(学) 藤 川 学 園
嘉 穂 無 線 ホ ー ル デ ィ ン グ ス (株)	(株) 西 日 本 新 聞 ビ ル デ ィ ン グ	(株) 瀏 上 フ ァ イ ン ズ
(株) 環 境 開 発	(一 社) 日 本 ア ミ ュ ー ズ メ ン ト 産 業 協 会	(株) フ ラ ワ ー ビ デ オ
(公) キ ャ メ ル	福 岡 県 本 部	(株) 丸 信
苅 田 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ	日 本 映 像 ソ フ ト 制 作 ・ 販 売 倫 理 機 構	三 井 松 島 ホ ー ル デ ィ ン グ ス (株)
キ ュ ー サ イ (株)	日 本 製 鉄 (株) 八 幡 製 鐵 所	(株) ミ ナ ミ 商 事
(一 社) 九 州 学 士 会 福 岡 支 部	(株) 八 ち ゃ ん 堂	明 治 安 田 生 命 保 険 相 互 会 社
久 留 米 商 工 会 議 所	(株) ヒ ュ ー リ ス ア カ デ ミ ー	(株) 百 田 工 務 店
(医) 光 風 会 宗 像 病 院	(株) ヒ ロ カ ネ	

個人賛助会員の皆様

青木 毅	内山 慶子	戒田 協枝	小林 祥彦	竹田 芳朗	中村 香代子	東 久恵	真子 太	八木 信次
青野 隆子	梅木 聡子	柿本 憲治	小宮 董	田代 強一	中村 清	東 良	増田 美智代	安武 憲明
赤尾 浩太郎	江川 洋	陰山 博	是枝 高司	田代 保博	中村 治幸	久門 尚基	松石 量則	彌永 九州男
赤星 満子	江崎 美津子	笠木 一夫	河野 達海	田中 信	中村 睦子	久下 正俊	松枝 米洋	山田 和子
秋山 憲一郎	江崎 峰子	笠原 高司	権現 昭二	田中 一弘	中村 良洋	秀 ハツエ	松岡 久代	山田 貴文
秋吉 幸二	大内 マツノ	香月 均	佐藤 和久	田中 浩治	滑石 隆紹	兵頭 正俊	松隈 秀隆	山田 憲勝
浅野 翔太	小串 保子	加藤 重敏	佐藤 俊之	田中 祐二	灘波 千明	平野 学	松本 美香	山田 幸美
穴見 英三	大澤 良一	金澤 克朋	下茂野 寛	田和 昭寿	灘波 英次	平野 真規	松本 洋子	山根 千里
新井 潤	大島 勇夫	金子 博	城 裕介	津上 正幸	西岡 辰祐	深見 健児	松本 義明	横溝 彌太郎
新井 洋子	太田 強	樺島 篤	庄司 真美	辻村 哲弥	西山 隆	福井 悦子	松本 好成	横山 繁利
井浦 蘭子	大西 潤平	樺島 義幸	白土 聖司	手島 道子	野上 明倫	福澤 信義	松本 三島	吉田 壽一
伊折 千秋	大庭 奈名	神谷 龍治	末崎 牧	徳永 文暁	野口 和恵	藤岡 ひとみ	三島 正浩	吉田 秀之
石川 治夫	大橋 拾子	菊次 和夫	末田 金次	中島 浩	葉玉 博幸	藤田 孝子	三島 好浩	米倉 秀之
石橋 具視	大原 始	城戸 徳郎	末次 威生	中島 貴美子	花田 拓	藤田 信治	三島 正浩	米倉 正廣
伊東 清寛	大曲 昭恵	具志 道次	末松 六則	中島 俊介	花田 真雄	藤田 信治	三島 正浩	吉田 正宇
伊東 望	大群 拓也	熊谷 博孝	須貝 由美子	中島 達朗	馬場 京子	藤本 廣三	三島 正浩	吉留 節子
井上 俊治	大藪 和子	熊野 君男	杉原 敏子	中島 利男	馬場 忠久	藤山 泰三	三島 正浩	吉野 利子
猪瀬 正典	岡松 直照	熊本 幸雄	鈴木 康敏	中嶋 俊子	早川 良子	藤山 泰三	三島 正浩	吉原 陽子
入江 智子	岡村 憲人	倉富 昭正	陶山 正徳	中嶋 博之	原口 庄塑	藤山 泰三	三島 正浩	
岩村 幸二	奥 久志	厨 元博	関 好孝	長野 一江	林 初代	藤山 泰三	三島 正浩	
因 征二郎	尾座本 宜一	古賀 敏彦	副島 紀身	長野 繁蜜	林 賢太郎	藤津 権三郎	三島 正浩	
上野 一成	越智 康久	古賀 祐三	泊 武人	長野 春奈	原 明義	藤田 孝子	三島 正浩	
上村 育也	落石 藤隆	古園井 広記	大 弘薫	中原 あや子	原 桂子	藤田 孝子	三島 正浩	
牛島 昌哉	小野 剛史	児玉 弘	竹井 章	中原 憲幸	稗田 慶子	藤田 孝子	三島 正浩	

事務局だより

主な行事(R1年11月25日～R2年3月末予定を含む)

12月 1日(日) 「異年齢交流で育てー青少年(育成キャンペーン) 報告会」

7日(土) 8日(日) 9日(月) 10日(火) 11日(水)

青連協青年リーダー養成事業
少年の主張全国大会

12月 12日(水)

青連協徳地アドベンチャー教育プログラム研修

16日(月)

青連協常任委員会(以降、1/20、2/27)

27日(金)

役員・顧問・専門部会委員会合同会議
御用納め

13日(月)

「家庭の日」「オアシス運動」最優秀賞等表彰式(以降19日まで展示)

15日(水)

第11回広報部会(以降、2/10、25、3/16)

18日(土)

第6回健全育成部会

22日(水)

第3回家庭部会

29日(水)

広報部会取材

3日(月)

さわやかマラソン大会事務局会議

5日(水)

乳幼児教育研修会

7日(金)

さわやかマラソン大会監査

19日(水)

さわやかマラソン大会実行委員会

22日(土) 23日(日)

青連協青年リーダー養成事業

26日(水)

共同募金会ヒアリング

※3月開催予定の理事会等諸会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

新特別賛助会員(R2年2月現在)
福岡県市長会

赤い羽根共同募金



高齢者、障害者、子どもたちなどへ地域の福祉活動を支援します。「災害ボランティアセンター」の設置や運営にも役立ちます。

この広報紙は、共同募金の配分を受けて発行しています。

青少年育成 考



（公社）福岡県青少年育成県民会議 理事・福岡県私学協会会長
八尋 太郎

児童生徒の健全育成に向けた 福岡県私学協会の取組み

昭和21年に設立された福岡県私学協会は、県内の私立の高校、中等教育学校、中学校、小学校で構成され、私立学校相互の連絡協力により、私学教育の振興を図っています。

私立学校の一特徴は、各学校が、独自の建学の精神のもと、特色ある教育を実践していることです。本県には、私立の高校が59校、中等教育学校が1校、中学校が27校、小学校が9校あり、約6万2千人の児童生徒が学んでいます。県内の私立高校生の数は、県内の全高校生の約4割を占めています。この割合は全国で4番目に高く、本県は、私立学校の役割が大きな都道府県の一つとなっています。

本協会では、児童生徒の健全育成に向けて、生徒指導・いじめ対策委員会や不登校・中途退学者防止対策委員会を設置するとともに、先生方を対象に、生徒指導・いじめ対策研修会や不登校・中途退学防止研修会を開催しています。

学防止研修会を開催しています。スマホ・ネット対策など情報化社会における児童生徒の非行防止や犯罪被害の防止の方策、また、大きな社会問題となっている不登校や中途退学への対応方策などについて、先生方が、学校現場での経験をもとに、意見や情報を交換しながらより効果的な対応方策を検討し、各学校での実践につなげています。

また、全国的にも特徴のある事業として、本協会は、私立高校生をタイやベトナムなどアジア諸国に派遣する事業、アジア諸国から短期留学生を受け入れる事業などを実施し、国際社会で活躍できる人材の育成に積極的に取り組んでいます。少子高齢化やグローバル化、ICT化など、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化の中で、本協会は、今後も、児童生徒の健全育成に全力で取り組んでまいります。

編集後記

本紙は平成28年(2016)195号から3回に渡り子どもの貧困問題を特集している。子ども食堂を初めて取材したのは民間で開設したくろめ子ども食堂である。同じ時期マスコミで話題になった大野城市の子ども食堂にも注目し取り上げていく。5年経った今、筑紫野(大野城)地区の子ども食堂は大きく様変わり。2012年東京大田区で始まった子ども食堂は筑紫野地区のようにNPO法人・個人・企業・行政など主催や形態を変えながら全国で継続されている。本号(207号)は恒例のさわやかマラソン・乳幼児教育研修会も取材。昨年とは違う参加者、違う発表内容を掲載している。是非一読していただきたい。

県民会議広報部会長 馬場 京子

青少年の健全育成のために

賛助会員入会をお願い

次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議は、少年の主張大会、野外学習、マラソン大会など、様々な活動を行っています。

県民会議では、賛助会員の募集を行っています。会費は左下のとおりです。電話(092-643-6001)をいただければ、資料をお送りいたします。

賛助会員の年会費

個人	1口	1,000円
法人又は団体	1口	15,000円
特別賛助会員	1口	50,000円

納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただくか、県民会議事務局に直接ご持参ください。

- 西日本シティ銀行千代町支店(普通預金) 3053033
- 福岡銀行県庁内支店(普通預金) 526475
- 筑邦銀行福岡営業部(普通預金) 1597091
- 福岡中央銀行本店(普通預金) 1030569
- ゆうちょ銀行振替 01700-5-4057

この用紙は、森林資源保護のため再生紙を使っています。